

令和6年能登半島地震建物被害推定

令和6年（2024年）1月1日16時10分。石川県能登半島で発生した最大震度7の大地震では、強い揺れや津波で多くの建物が倒壊した。道路が寸断されている中、人工衛星により建物の被害を捉えた。

石川県 輪島市



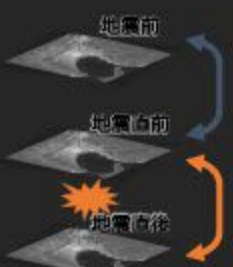
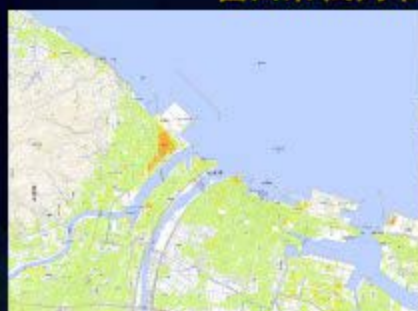
石川県 珠洲市



石川県
かほく市・内灘町



富山県 高岡市



解析方法

干渉SAR解析により地震発生前後の干渉性の変化を異なる波長のSAR組み合わせで解析し、火災や液状化・地震による倒壊・損壊などの建物被害が発生した範囲と建造物の被害状況を推定した。

（特許第7335733号 建物被害推定システム）

使用データ

ALOS-2 (DES 2024/1/2, 2023/5/6, 2022/11/22) , (ASO①) 2024/1/2, 2023/9/26, 2022/5/23)
(ASO②) 2024/1/12, 2023/11/3, 7/14) ©JAXA
Sentinel-1 (2024/1/7, 2023/12/26, 12/14) ©ESA
青森 Sentinel-1 ©ESA
国土数値情報 行政区画データ、建物データ、拡大図背景：地図院地図

凡例	建物の被害可能性	備考
	非常に高い	輪島市の全校区画など、建物がほぼ全壊と考えられる区域
	高	高い割合で建物被害が発生していると思われる区域
	中	一定の割合で建物被害が発生していると思われる区域 液状化による地盤変状を含む
	低	ほぼ被害が無いと思われる区域